

地球にやさしい環境整備事業プロジェクト

— 企業版ふるさと納税のご案内 —

◎ 脱炭素社会に向けた国の動き

国は2030年に向け、温室効果ガス排出量を、46%削減（2013年度比）し、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするという目標を掲げています。

家庭部門では、ZEH住宅（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の導入促進や2030年までに新築戸建て住宅の約6割に太陽光発電を設置するなど、住宅・建築物の省エネ性能の向上と再エネ・創エネ設備の導入が求められています。

◎ 本市の取組

本市では、平成23年度から住宅用太陽光発電設備導入等の補助金制度を開始し、次世代エネルギーを活用したまちづくりに積極的に取り組んでいます。

また、民間事業者により、再生可能エネルギーを活用した、エコで持続可能なスマートモデル街区「AITOWN 天辰」を整備するなど、産官一体となり脱炭素社会に向けた取り組みを推進しています。

また、令和3年6月8日には「薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言」を掲げ、市民・事業者等と連携しながら、2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ薩摩川内」の実現に取り組んでいきます。



■ 本補助制度の概要

市内居住者または市内事業者が、下記設備を導入する際に、経費の一部を補助することにより、市民等の負担の軽減を図り、さらに環境保全意識とエネルギーに対する意識の向上に取り組むことで、地球にやさしい環境の整備を図るもの。

<対象設備・補助金額>

- 蓄電システム
1kWhあたり2万円 上限10万円
太陽光発電設備と同時設置の場合
1kWhあたり3万円 上限20万円
- ZEH
国補助金交付額の1/2 上限20万円
蓄電システムを導入した場合
国補助金交付額の1/2 上限10万円

■ 本制度の目指す効果

- 創エネ・蓄エネ・省エネ設備等の普及
- 温室効果ガス排出削減及び次世代エネルギー利用促進
- 環境保全意識とエネルギーに対する意識の向上

■ プロジェクトの流れ

